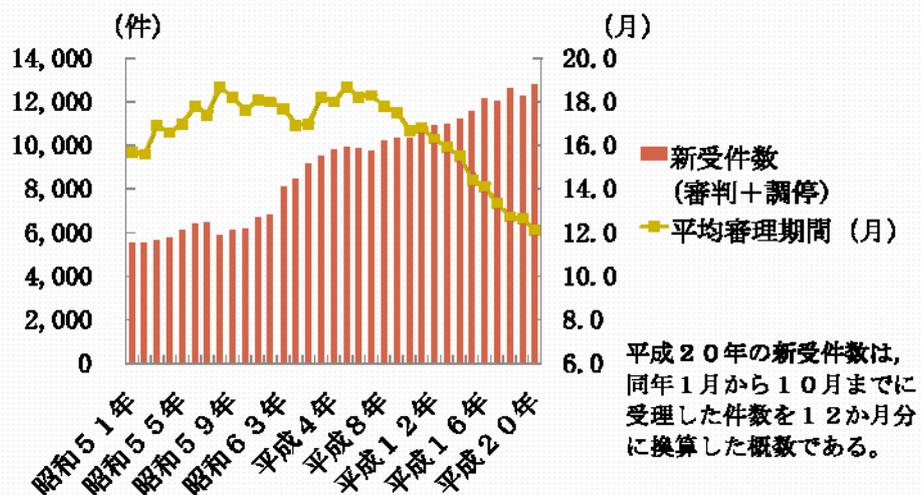


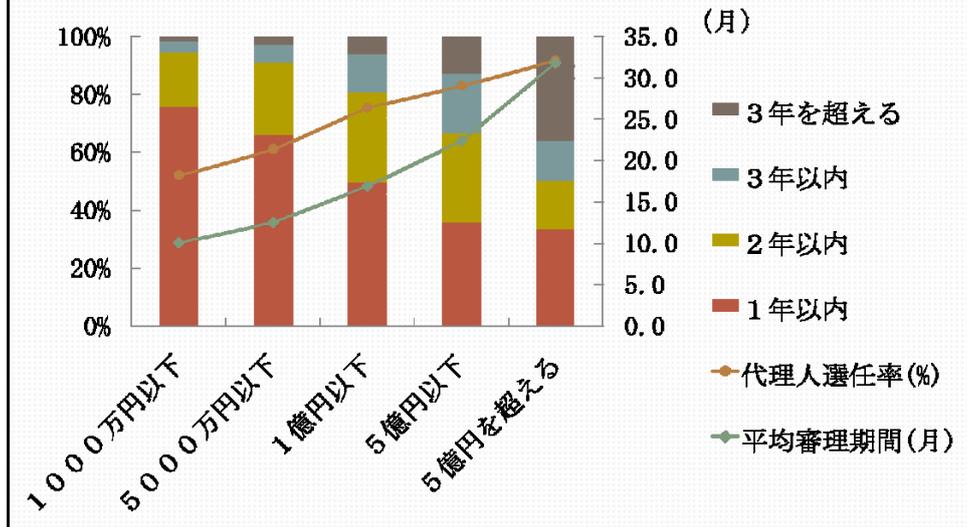
続・遺産分割事件等の 審理について

最高裁判所家庭局

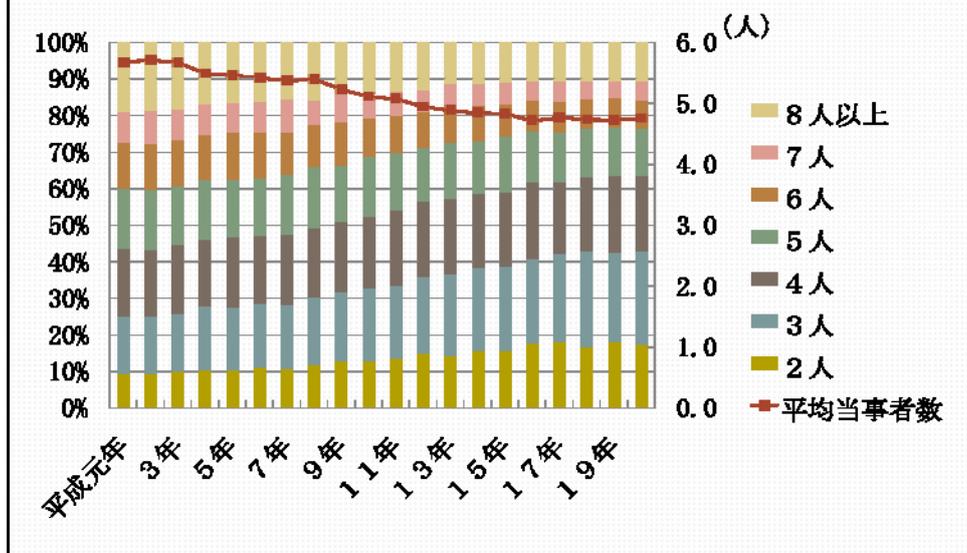
遺産分割事件の 新受件数と平均審理期間の推移



遺産分割事件の 代理人の選任状況と遺産額



遺産分割事件の当事者数の推移



遺産分割事件が長期化する 要因として考えられること(再)

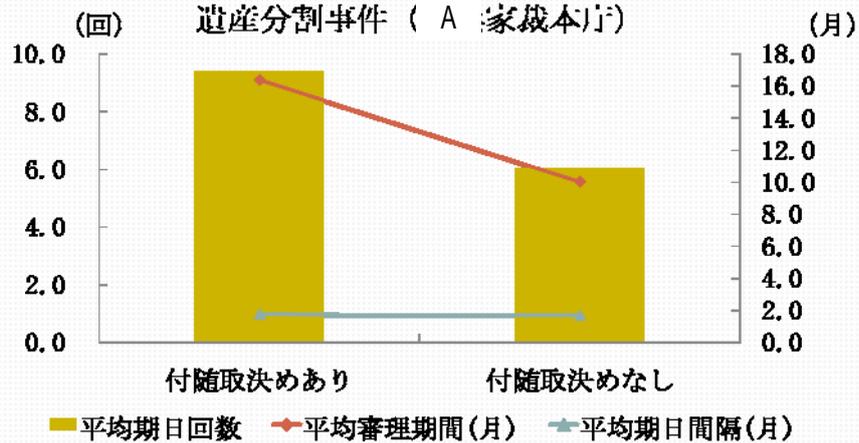
1. 前提問題等の関連事件待ち
2. 付随問題についての調整
3. 当事者多数
4. 物件多数
5. 特別受益・寄与分についての主張
6. 感情的対立

前提問題等の関連訴訟と 長期未済事件

	未済 事件 総数	5年を超える 長期未済事件数	うち関連訴訟の 係属のある/ あった事件数	備考
東京家裁本庁	1,070	14	6	関連訴訟の係属のないもののうち、遺産の範囲、遺産である土地の境界に争いのあるものが4件
大阪家裁本庁	616	5	3	

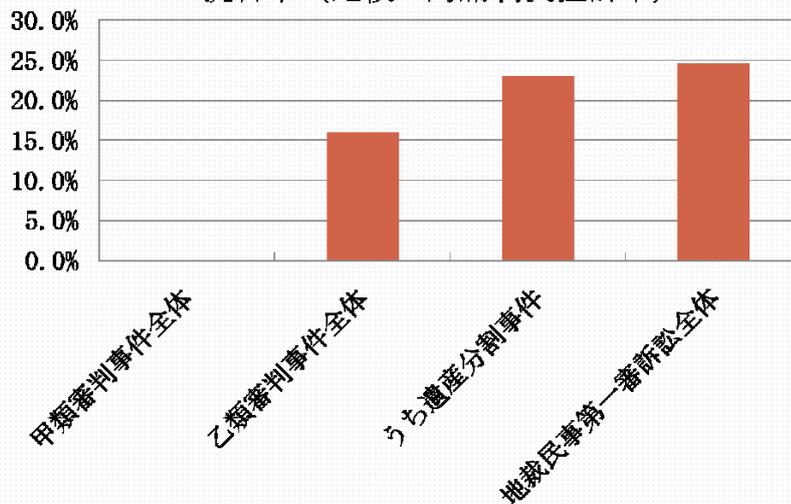
付随問題についての調整と 平均審理期間等

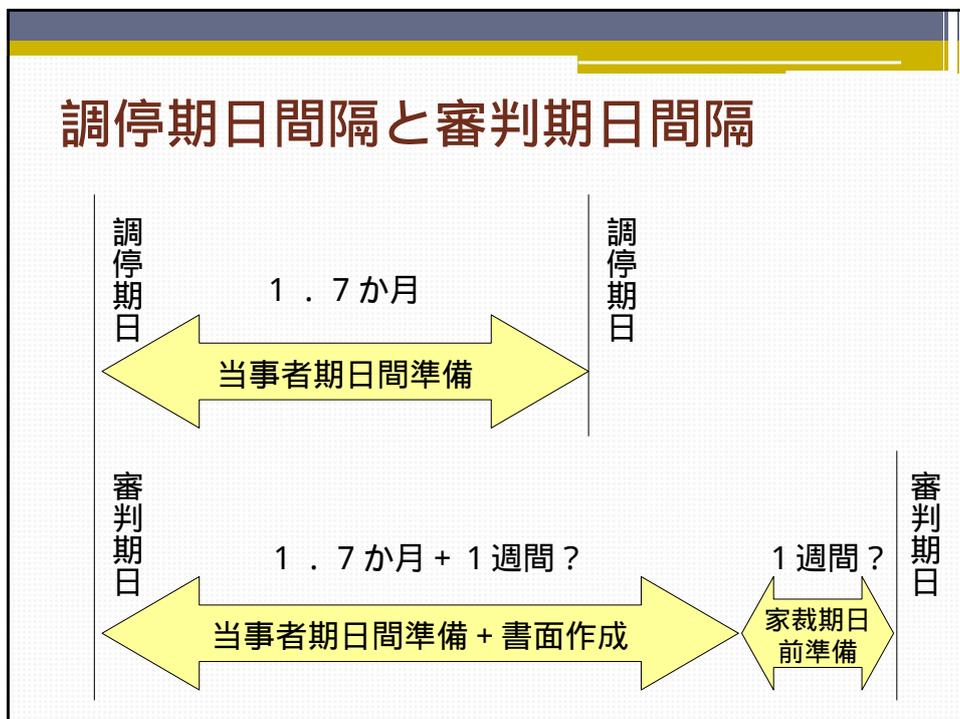
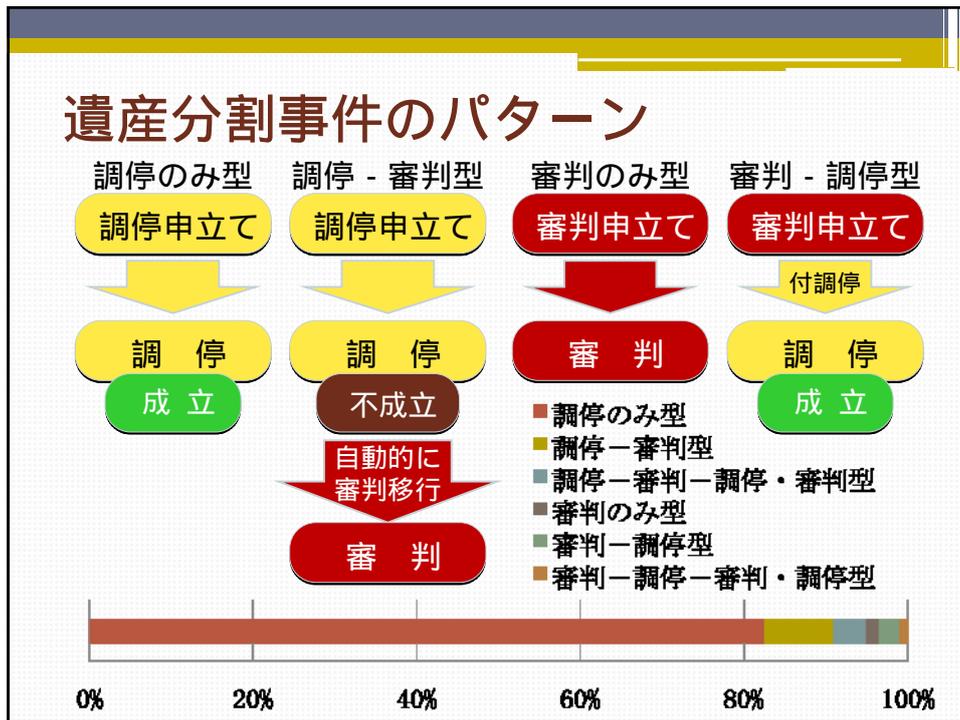
平成19年に調停成立で終局した
遺産分割事件（A 家裁本庁）



遺産分割事件における抗告の状況

抗告率（比較：対席判決控訴率）





審判のみ型事件の傾向

調停事件が審判に移行した後に，関連事件又は相手方から同一事件が審判として申立て。

遠方居住，所在不明，感情的対立が激しいなど，出頭の見込みがなく，かつ書面による受諾も見込めない当事者がいる。

抗告審からの差戻し事件。

遺産分割事件の長期化要因(まとめ)

1. 前提問題等の関連事件待ち
2. 付随問題についての調整
3. 当事者多数
4. 物件多数
5. 特別受益・寄与分についての主張
6. 感情的対立